



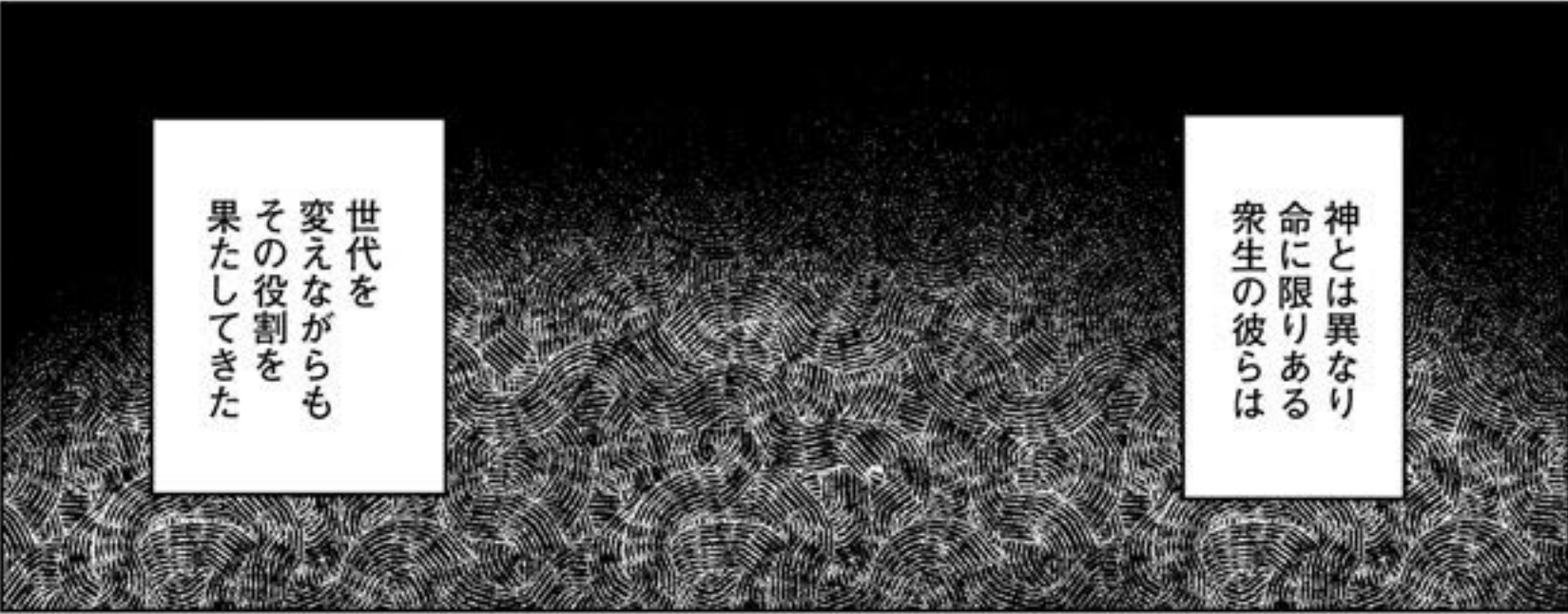
八部衆
はちぶしゅう

仏に仕え、
仏法を守護する
八つの種族から
構成される



神である
天、阿修羅、
乾闥婆、緊那羅
けんだうば きんなら

衆生である
摩睺羅伽、夜叉、
龍、迦楼羅
しやじゅう まごら か ちや ら



神とは異なり
命に限りある
衆生の彼らは

世代を
変えながらも
その役割を
果たしてきた

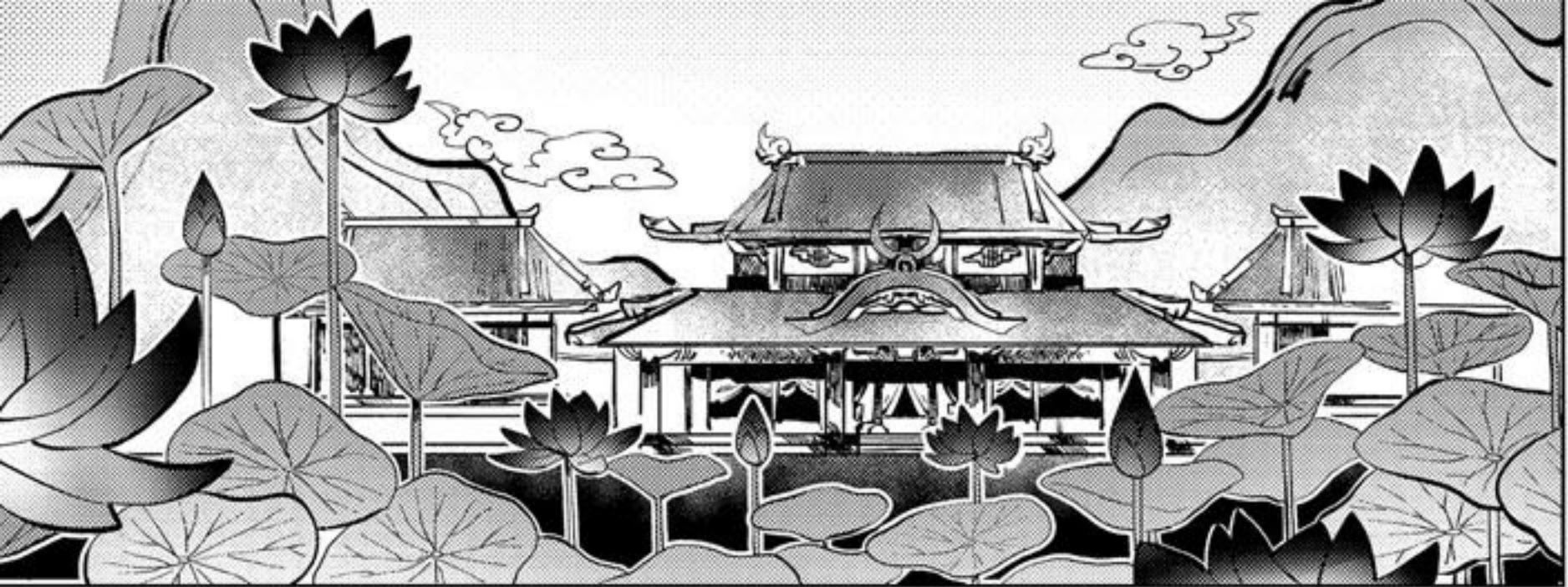


修行を重ね、一族から
選ばれた者だけが
八部衆に選任される



そして今
新たに二つの
種族の候補者が、

観音様の住まう、
普陀洛^{ふだろく}にて、最後の
修行に励んでいた





どうやらお二人は
八部衆になる自覚が
まだ足りないようです



申し開きの
しようも
ございません
……

迦楼羅族
八部衆候補
かいえん
界焰



そうかも
しれません

龍族
八部衆候補
こうけい
降溪



しかし！
俺は降溪に
売られた
喧嘩を買った
だけです！

買わなければ
良いと思いまーす

喧嘩両成敗
です



そもそも私は
交遊を深めようと
しているだけで

いつも先に
手を出してくるのは
界焔です

何が交遊だ
顔見りや嫌味しか
言ってこねえ
くせに



嫌味に聞こえる
ということは内容に
心当たりがあるから
では？(笑)

同室でお前を
殴らないように
俺がどれだけ我慢
してるかわかってん
のか……？

注意したそばから
喧嘩しない！



ふん……
個々で見れば
非常に優秀と
期待していましたが



二人で協力する
課題は何一つ
成果を出せて
いませんね



本来 八部衆は
異なる種族が
互いに協力し
その役割を果たすもの

他者を認め、
尊重することが
できなければ
なりません



今のあなたたちに
その力があるとは
思えません

ハッキリ言って、
あなたたち二人は
八部衆に相応しくない

……！

せっかくの推薦
ですが、今からでも
他の者を探すことも
……

まっ待って
ください！

協力……できます！
だからッ八部衆から
外すのだけは……
どうかお願いです！

では……私に
証明してみせて
ください

何か一つでも
二人で協力し
遂行できる
のだと

二人には
娑婆^{しやば}にて
最後の課題を
与えましょう

これができるば、
正式に八部衆へ
歓迎します

！

※娑婆……現世・人間界

決して
争わず

必ず二人で
力を合わせ、
成し遂げることに











龍は古くから
御仏と関わりが深く
授かる役目は
八部衆だけではない

他の種族よりも
予備がたくさん
いるんです

今回私が
選出されたのも、
現・八部衆である
兄の栄転を受けて
なので

私はその
穴を埋める
ため

私が相応しくない
のであれば、別の
予備に代わる
だけのこと











でも結局
私が連れ帰ることは
変わらないんですよ

同室で同期
なんですから
責任持って
お願いしますよ

はあ
……

そんなに言うなら
あなたが隣で
飲みすぎないように
監督すればいいじゃ
ないですか

兄が月生会に
来ないのであれば
喜んで参加しますよ

私だって
好きで回収に
来てるわけじゃ
ないんですから



それでもいつも
必ず迎えに
来てあげるん
ですよ









……なんで
なりたくねえの

誰でも
なりたくて
なれるわけじゃ
ねえのに

……
好きでここに
いるわけじゃない

言ったでしょう
私は予備だと

私でないと
いけない理由は
ない

その予備だろうが
実力を認められて
ここにいらんだろ

なんでそんな
卑屈なんだよ

7.



周りから期待されて
育ったあなたには
理解し難いでしょうが

自分の上・位・互・換・と
比較され続けられ
屈折もしますよ

私は優秀な
兄とは違う



兄貴になろうと
すんなよ



お前はその兄貴とは
違うんだから



お前は
お前だろ

いつも
つかかってきて
うぜーけど

……
悪いやつじゃ
ねーし

俺は一緒に
八部衆に
なるなら



お前とじゃなきや
いやだ







